

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施]

R2 学校教育自己診断の回答より ※年度 (%) … (生徒回答)

- ・授業はわかりやすく工夫されている。  
H29(73) H30(78) H31(79) R2(77)

生徒(77) 保護者(63) 教員(90)…(R2 三者比較)

※「オープンクラス」による教員間での授業見学や研究協議の機会が増加し、授業内容のレベルアップにつながっている。継続していく。

- ・将来の進路や生き方について、学んだり考えたりする機会がある。  
H29(74) H30(78) H31(81) R2(84)

(R2 三者比較)生徒(84) 保護者(85) 教員(86)

※1年生からのきめ細やかな進路指導が実現しつつある。

- ・学校の決まりやルールを守っている。  
H29(87) H30(92) H31(88) R2(92)

(R2 三者比較)生徒(91) 保護者(84) 教員(18)

※生徒一人ひとりの自覚もあるが、教員はルールを守らせる立場にあり、ぶれのない指導体制の積み上げが課題である。

- ・先生や学校は、いじめにしっかり対応してくれる。  
H29(80) H30(84) H31(83) R2(82)

(R2 三者比較)生徒(82) 保護者(72) 教員(96)

※いじめ対策チームによる啓発からいじめに対する教員間での共通理解が深まり、どの学年でも即時対応できるようになった。

- ・悩みや相談に応じてくれる先生がいる。  
H29(78) H30(83) H31(72) R2(71)

(R2 三者比較)生徒(71) 保護者(80) 教員(94)

※生徒からの相談にはていねいに対応できている。気づきと情報共有、教員から生徒へのさらなる声掛けが課題である。

- ・クラブ活動や生徒会活動は活発だ。  
H29(60) H30(66) H31(67) R2(69)

(R2 三者比較)生徒(69) 保護者(51) 教員(12)

※クラブ活動への加入人数は少ないが、加入者自身の満足度は高い。加入人数の関係で三者比較に大きな差が出ている。生徒にとって、魅力とやりがいのある部活動づくりを支援していきたい。

- ・校内はきれいな状態である。  
H29(59) H30(65) H31(63) R2(60)

(R2 三者比較)生徒(60) 保護者(61) 教員(42)

※清掃指導が学年やクラスによって差異が生じている。教職員・生徒一体となった体制づくりが課題である。

- ・校内研修は教育実践に役立つような内容となっている。  
H29(65) H30(72) H31(59) R2(76)…(教員回答)

※研修内容を精査し、必要とするテーマについて継続的に研修しながら、より教職員のためになる研修を実施する。